

にじの郷だより

第31号

変わらないもの

5月になりました。今年は桜の開花が異常に早く4月に入ると既に葉桜となっていて、各地の“桜まつり”イベント関係者を慌てさせました。これも地域温暖化のなせる技でしょうか。

4月半ばには若葉垂れる山々の上空は黄砂に襲われ気分的にもすっきりしない状況が続きました。

これらは何れも“〇〇年振り”とか“観測史上初めて”とか表現されていましたが、有史以来或いは地球史的には驚くようなことではないのかもしれませんが。

驚くべきは人間の感性の変化の大きさです。つい先日まであれ程恐れられ、そして現実的にも日常生活・社会活動を大きく制約していたコロナウイルスは、感染法上の位置付けが変わっただけでウイルス自体が消失した訳でもないのに、それこそアツという間に個々人の意識の彼方へと追いやられているような有り様です。

現在この国では単にボリュームを膨らませることを“異次元”と表現するのが当たり前のようになっていますが、言葉というものは使われれば使われる程その“次元”は低下するものです。例えば食卓で主食に添えられた「付け＝つけ」がより丁寧な「おつけ」になり、今や「おみおつけ」になったように…。

今思うのは世の中には変わらないもの、変わってはいけないもの。或いは変えてはいけないものがある筈です。季節の移ろいを敏感に受けとめる心の有り様もその一つだと思います。春には春の、夏には夏のといった世の中の変化を的確に感じとれる心をいつまでも持ち続けていきたい。そう願っています。

鯉のぼり泳ぐ青空を見上げながら

面会再開!!

5月1日(月)から新型コロナウイルス感染の対策を行いながら、直接対面での面会を再開致しました。(パーティション越し対面。直接接触及び飲食物の供与は不可) **【完全予約制】**

面会場所：1階地域交流スペース、1家族1日1回、1名程度

面会時間：9時～17時(平日のみ) 10分以内

サージカルマスク着用の上、手指消毒、検温を済ませてからの面会です。

風邪の症状や37.5℃以上の熱がある方、強いだるさ(倦怠感)のある方、高校生以下の方のご面会はできません。

リモート(オンライン)面会について

～5/16新システム移行に伴う一時休止のお知らせ～

現在、MENKAI GOというシステム(アプリ)を介して、施設で生活しているご利用者様とご家族様とでリモート面会を実施しているのですが、面会システムがCAREKARTE Liveというにじの郷で使用している業務システムの1つの機能として、システムに組み込まれることになりました。

5/16(火)より新しい面会システムでのリモート面会を実施する予定です。

メガネと補聴器のカームさんによる点検・修理・洗浄(ボランティア)の再開について

4/19 約3年ぶりに、にじの郷で活動をしていただきました。中でも、ご利用者様に好評なのが、メガネの洗浄。5名の方のメガネの洗浄をお願いしました。ご利用者様それぞれが視界がスッキリしたようで、良く見えると笑顔で応えてくれたこと。感謝しております。

※にじの郷では、現在、ボランティアさんの受け入れについて、活動内容や施設の状況を判断の上、個別にお願いしています。



ご利用者様の近況(R5.3~4月)



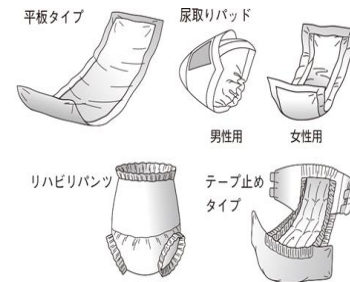
にじの郷だよりが生まれ変わります！

次号(7月発行予定分)より、にじの郷の魅力をお伝えする為に、より身近な情報発信・充実した内容の掲載をめざし、行事・ボランティア委員会メンバーが持ち回りで、にじの郷だよりの企画立案から作成までを行う事になりました。乞うご期待!!

未使用おむつ寄贈について

にじの郷では、ご家庭で使わなくなった未使用おむつを(ご寄贈いただき、)おむつの必要なご利用者様に対し、有効活用させていただき取り組みをしております。

にじの郷が介護事業所として、持続可能な成長を続けるために、地球環境(自然)に優しく、地域社会と共存する1つの方策として、継続して取り組んでいます。これまでも、数え切れないほどのおむつをいただき、非常に助かりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。これからも、皆様からのご寄贈をお願いします。



地域密着型特別養護老人ホームにじの郷 ショートステイにじの郷

〒971-8151 福島県いわき市小名浜岡小名字山ノ神27番1

TEL:0246-73-0266 FAX:0246-38-5541

MAIL:info@iwaki-nijinosato.or.jp

URL:http://iwaki-nijinokai.jp

